

青と緑が織りなす活気あふれる恩納村

広報 おんな

2018


5

No.443

ピカピカの1年生
入学おめでとう!!

おもなトピックス

- ▶平成30年度一般会計当初予算……………P2～3
- ▶人事異動、入学式……………P8～9
- ▶健康診査、がん検診のお知らせ……………P12
- ▶くらしの情報……………P14
- ▶「サンゴの絵本」大賞決定……………P16

 村のホームページはこちらから
<http://www.will.onna.okinawa.jp>



☆平成30年度の主な事業を紹介します☆

●教育・文化(歴史と文化が薫り英知を育む村)

統合中学校建設事業	12億374万円	預かり保育業務嘱託員	1,099万円
平成29年度に引き続き、平成32年4月の開校に向けた事業を展開します。		前年度に引き続き、村内各幼稚園での預かり保育を実施します。	
特別支援教育支援員配置事業	4,303万円	国際交流人材育成事業	629万円
村内幼小中学校に特別支援教育支援員を配置いたします。		国際交流の促進、諸外国との懸け橋となる人材を育成するため、研修生の派遣及び受入を実施します。	

●保健・医療・福祉(皆が安心して暮らせる健康の村)

障害福祉サービス等費	2億4,237万円	こども医療助成事業	2,914万円
就労定着支援等の新たな障害福祉サービスを実施します。		入院、外来にかかる医療費助成を高校卒業(18歳)まで拡充いたします。	
子どものための教育・給付金事業	1億6,457万円	放課後児童クラブ支援事業	4,222万円
保護者の保育料の負担軽減を図るために、認可保育園へ運営費を給付します。		恩納小中学校内の既存の建物を活用して学童クラブを整備いたします。	

●産業・経済(人々が集い活力ある豊かな村)

恩納漁港整備事業	2億3,890万円	万座毛周辺活性化施設整備事業	2億9,850万円
恩納漁港施設の機能向上を図るため、物揚場、泊地、突堤を整備します。		万座毛の駐車場拡張整備を行い、観光地としての受入体制の強化を図ります。	
水利施設保全高度化事業	1,200万円	サンゴの森創生事業	300万円
喜瀬武原農業用水利施設において農業用水の安定供給および管理作業の省力化を図ります。		サンゴの群落調査や養殖、植付、オニヒトデ駆除等のサンゴ保全活動及び赤土流出対策に向けたモニタリング等を実施します。	

●生活環境(美しい自然と共生する潤いのある村)

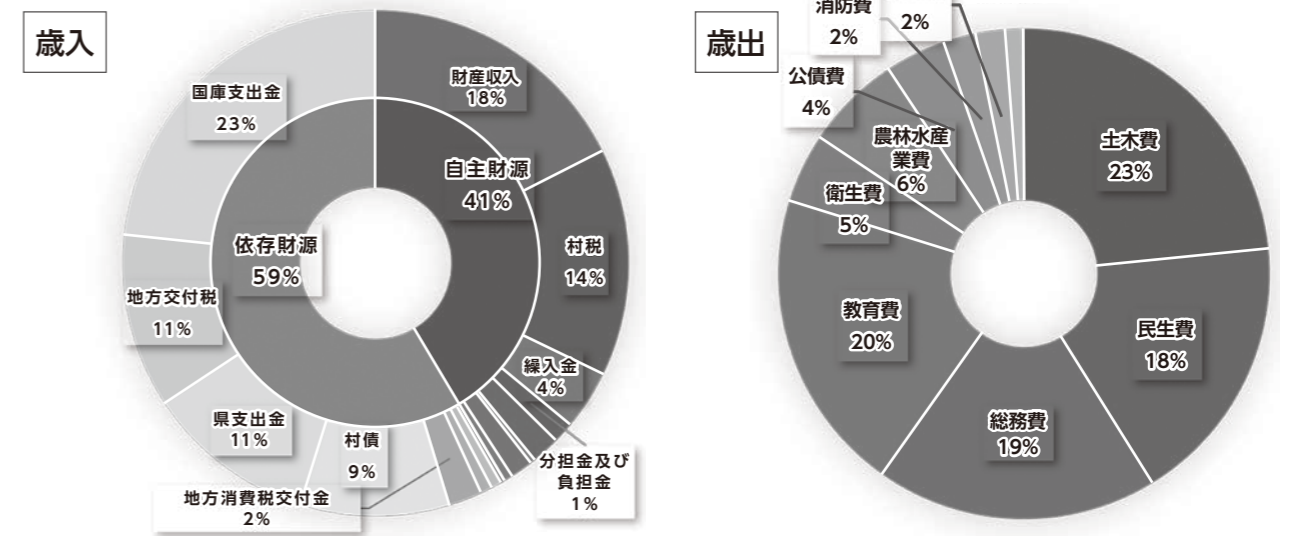
下水道整備事業	1億5,267万円	河川整備事業	2億5,105万円
恩納第2地区の下水道整備工事を実施します。合わせて宅内配管接続費用を補助します。		勢高排水路(南恩納)及び福地川(安富祖)の改修に向けた工事及び設計を実施します。	
ダム建設事業	11億6,111万円	名嘉真川橋梁整備事業	8,000万円
平成29年度に引き続き安富祖ダム本体工事を実施します。		名嘉真川橋梁整備工事(本年度は下部工)を実施し、生活環境の改善を図ります。	
村道整備事業	4億143万円	消火栓等改修事業	1,478万円
喜瀬武原11号線及び勢高1号、2号の工事及び設計等を実施します。		平成29年度に引き続き、消火栓・防火水槽の増設や老朽化した消火栓の改修を実施します。	

●自治体運営(村民が参加し協働して築く村)

あしびなー施設整備事業(仲泊区)	4,100万円	ふるさと応援寄附金活用事業	1,088万円
施設整備により、伝統芸能の継承及び世代間交流等を行い地域の活性化を図る。本年度は建築設計を実施します。		全国から寄せられた寄附金を活用して環境保全、子育て支援、青少年育成に関する事業を展開します。	

平成30年度 恩納村一般会計当初予算 102億6,888万2千円(前年度比8.9%増)

平成30年度の一般会計予算、特別会計予算(国民健康保険、後期高齢者医療、下水道事業)及び水道事業会計予算をお知らせします。このうち、村行政の基本的な経費である一般会計予算は、102億6,888万2千円で、対前年度比8億3,496万8千円増(前年度比8.9%増)の予算となりました。特別会計の合計予算額は、19億7,457万5千円で、対前年度比△5億6,362万2千円(前年度比△22.2%)となりました。また、公営企業会計の水道事業会計予算は、8億6,095万5千円で、対前年度比△7,065万4千円(対前年度比△7.6%)となりました。その他詳細につきましては以下の内容によりお知らせします。



●特別会計予算

区分	予算額	前年度予算額
国民健康保険	15億3,378万5千円	19億3,097万8千円
後期高齢者医療	1億139万9千円	9,494万7千円
下水道事業	3億3,939万1千円	5億2,553万円

●水道事業会計予算

区分	予算額	前年度予算額
収益的収支	7億3,707万8千円	7億1,044万2千円
資本的収支	1億2,387万7千円	2億2,116万7千円
合計	8億6,095万5千円	9億3,160万9千円

●一人当たりの予算の使われ方

土木費	民生費	総務費	教育費	衛生費	農林水産業費
218,510円	167,300円	173,580円	186,270円	43,080円	59,040円
道路、河川、村営住宅の整備など	高齢者、障害者、児童の福祉など	地域振興、財産管理、庁舎管理など	学校、博物館、文化情報センターの運営など	保健衛生、ごみ処理、火葬場の運営など	農業、畜産業、水産業の振興など
公債費	消防費	商工費	議会費	その他	
37,850円	20,390円	17,730円	9,340円	2,150円	
借金の返済費用	金武地区消防の運営、消火栓の整備など	観光振興、商工業の振興など	議会の活動費	災害復旧など	

村民1人当たりに使われる予算は...935,235円

*H29.2月末人口 10,980人

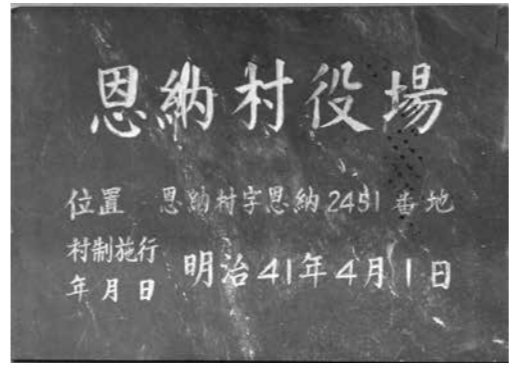
史 村 納 恩
り さん さ 編 だ
60

村制百年

今年(2018年)は恩納村制110年目です。今回はおさらいも兼ねて、恩納村が生まれた経緯、ムラの変遷をご紹介いたします。

恩納間切の創設

間切とは、明治41年3月まで使われていた、今でいう市町村と同じようなものです。『球陽』という資料に「金武郡内の四邑亦読谷山の八邑を將て、合して恩納郡と為し、始めて向弘毅(大里王子朝亮)・



村制施行日の入った旧役場庁舎の石版 (村役場所蔵)



仲間節の碑 (名嘉真)

毛国瑞(佐渡山親方安治)に賜ふ。」という記録があります。1673年、金武間切から四つのムラ、読谷山間切から八つのムラを分けて、恩納間切は創設されました。分けられたムラについて『南島風土記』では金武間切からは名嘉真、安富祖、瀬良垣、恩納の四か村、読谷山間切からは谷茶、富着、仲泊、久良波、読谷山(のちの山田)、真栄田、塩屋、与久田の八か村と記されています。

仲間節に「仲間(現在の名嘉真)からかいとて久志辺野古までも 金武の御前がなし おかけ親島」とあることから、名嘉真がもともと金武間切の村だったことがわかります。また、実物は残っていませんが、恩納ノロの辞令書の写真が残っており、これに「金武間切のおんなのろ」とあります。

恩納間切は国頭のムラと中頭のムラの統合によって生まれたため、現在の恩納村でも北部と中南部の

文化が継承されており、また、恩納と谷茶の間には文化的な境界があるといわれています。



恩納ノロの辞令書 万暦12(1584)年

恩納間切のムラ

恩納間切が創設された時には12のムラでしたが、それぞれのムラも様々な変遷を遂げています。間切創設前の「絵図郷村帳」という資料には金武間切のムラに「中間村」「あふそ村」「せらかち村」「おんな村」が見られ、読谷山間切のムラに「たんちや村」「上ふづき村・下ふづき村」「中泊村」「古読谷山村」「くらは村」「前田村」「しほや村」「よくだ村」[当時無之]「きんはま村」[当時無之]が見られます。現在はない地名があったり、逆に現在の地名が載っていません。これは集落の移動や合併、分離、また行政的な事情などが考えられます。

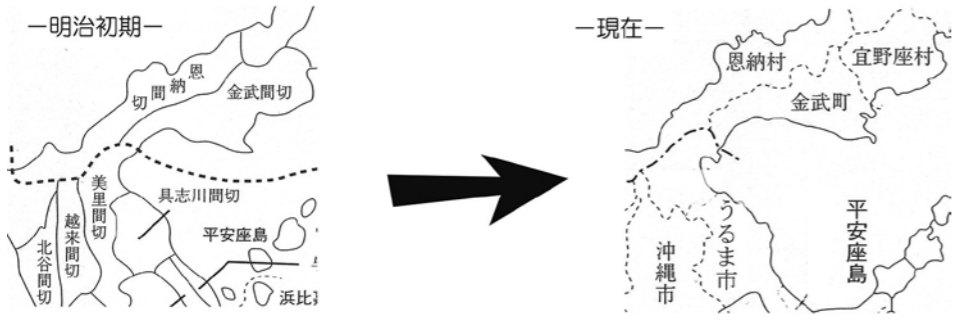
行政区(現在)	町村制施行 1908	琉球国由来記 1713	間切創設 1673	絵図郷村帳 1649	琉球国高突帳 (1635~1648)
名嘉真	字名嘉真	名嘉真村	名嘉真村	中間村	中間村
安富祖	字安富祖	安富祖村	安富祖村	あふそ村	あふそ村
喜瀬武原	喜瀬武原	喜瀬武原	喜瀬武原	せらかち村	せらかち村
瀬良垣	字瀬良垣	瀬良垣村	瀬良垣村	恩納村	おんな村
太田区	太田区	太田区	太田区	恩納村	おんな村
南恩納区	南恩納区	南恩納区	南恩納区	恩納村	おんな村
谷茶	字谷茶	(谷茶)	谷茶村	たんちや村	たんちや村
富着	字富着	富着村	富着村	上ふづき村	上ふづき村
前兼久	字前兼久	前兼久村	前兼久村	下ふづき村	下ふづき村
仲泊	字仲泊	(仲泊)	仲泊村	中泊村	中泊村
山田	字山田	山田村	山田村	くらは村	くらは村
真栄田	字真栄田	真栄田村	真栄田村	古読谷山村	古読谷山村
塩屋区(美留舎)	塩屋区(美留舎)	塩屋区(美留舎)	塩屋区(美留舎)	前田村	前田村
宇加地区	宇加地区(与久田舎)	宇加地区(与久田舎)	宇加地区(与久田舎)	しほや村	しほや村
				よくだ村	よくだ村

※ 独立地籍(字)でない行政区は〇〇区と表記

間切から村へ

明治に入り、琉球は明治政府のもとで、日本の近代国家に組み込まれていきます(琉球処分)。1907(明治40)年、勅令第46号にて「沖縄県及島嶼

町村制」が公布され、これまでの間切・島が改正されることとなりました。間切・島は町村、村(ムラ)は字と改められました。こうして、1908年4月



《参考文献》

- ◆ 『球陽』(活字本:球陽研究会1974年 角川書店)
- ◆ 「南島風土記」(『東恩納寛惇全集』七 1980年)
- ◆ 『沖縄県文化財調査報告書第十八集 辞令書等古文書調査報告書』沖縄県教育委員会 1979年
- ◆ 『沖縄県史 13巻 沖縄県関係各省公文書2』琉球政府1966年
- ◆ 『恩納村誌』仲松弥秀 1980年 恩納村役場

村内の道

村内には琉球王国時代に整備された国指定史跡「国頭方西海道」をはじめ、現代の国道 58 号までいろいろな道があります。国頭方西海道は歴史の道と呼ばれ、古道と道に関連する文化財が指定となっています。歴史の道には土道や石畳道になっているところがあります。旧白雲荘一帯の海岸沿いには県道跡やその下から琉球王国時代の道と考えられる構造も確認されています。さらに北側の名嘉真の山中には山を越える道も確認されています。その他には、谷茶の恩納南バイパスの予定地で確認された土を掘って作られた土道や南恩納地区の恩納通信所跡地内には里道があります。南恩納の里道には幅 1m ほどの土を少し盛ったような構造や約 3m の道幅で道の側面に石を並べて貼ってあり、轍（わだち）に何度か石を入れて補修したと思われる道も確認されています。古い道と新しい道の形や構造を比較することで当時の様子が想像できれば面白いかもしれません。



名嘉真にも歴史の道



谷茶から南恩納へかけての古道



近現代の道（道の両脇に石列あり）

平成30年度 歴史ロードを歩こう

恩納村教育委員会・博物館では歴史ロードを歩こう事業を毎年5月の第2週土曜日に開催しております。歴史の道 国頭方西海道を散策しながら関連する文化財についてガイドの先生から説明があります。真栄田の一里塚から多幸山のフェーレー岩をとおり山田グスク下を通り仲泊遺跡、博物館までの約 3.5km を文化財を見て、触れて、体験しながら歩きます。

参加には申し込みが必要となりますので博物館までお問合せください。

開催日：5月12日（土）

午前 9 時博物館集合（9 時～12 時まで予定）

定員：50 名

申込期間：5月9日（水）まで

（定員になり次第締め切らせていただきます。
ご理解のほどよろしくお願いたします。）

保険料：20 円（当日徴収）

村民のみなさまのご参加をお待ちしております。

お問い合わせ：恩納村博物館 ☎982-5112



サンセットコンサート

3月21日、25日に「恩納村博物館サンセットコンサート」を開催しました。サンセットコンサートはロケーションの良い博物館の展示ホールを活用し、皆様に優れた音楽や芸能に触れていただく機会を設けることを目的に毎年開催しています。

3月21日は「落語入門」と題し、県内でラジオパーソナリティーなどとして活躍されている、うちな一嘶家・北山亭めんそーれさんにご自身の経歴を落語調で語っていただきました。落語との出会いや東京での修業時代、そして沖縄に帰郷してから現在に至るまでのストーリーに会場も終始笑いに包まれていました。芸能のひとつである落語をサンセットコンサートの演目として開催するのは初めてでしたが来場者からは好評でした。次回開催を望む声も多くありましたので、今年度も内容を変えて落語を開催していきたいと思っています。

また、25日には琉球交響楽団の皆さんと宮城美幸さん、喜納響さんによる「弦楽四重奏と声楽」を開催いたしました。ヴァイオリンなどによる弦楽四重奏の演奏と宮城さんのソプラノ、喜納さんのテノールの歌唱は来場者を魅了しており、こちらも大変好評でした。今後も継続して開催していきますので、次回も是非ご来場ください。



恩納村博物館 オリジナル缶バッジをゲットしよう!

恩納村博物館ではこの度、身近な河川の自然環境に関心をもっていただけるよう、淡水の生きものをモチーフにしたオリジナルの缶バッジを作製しました。5月12日～6月3日の期間、博物館にて実施する「川の生きもの」クイズに挑戦して、この機会に是非、缶バッジをゲットしてください。



実施期間：5月12日（土）～6月3日（日）

※毎週月曜日は休館

参加方法：事前申込不要。博物館受付にて、問題用紙をもらい、展示ホールにて開催のパネル展「身近な川のさかなたち～恩納の川の生きもの～」の中から答えを探してください。回答が出来たら、博物館職員が答え合わせ後、全問正解の方に缶バッジをプレゼントいたします。

注意事項：缶バッジは全 6 種類ありますが、それぞれの数に限りがあります。多くの皆様にご参加いただけるよう、期間中の参加はお 1 人様 1 回とさせていただきます。また、無くなり次第終了となりますので、ご希望のデザインが無い場合もご了承ください。

入学式

4月10日、各小中学校で入学式が行われ、小学生112名、中学生111名が期待と不安を胸に新たな一歩を踏み出しました。

小学校では、担任の先生から名前を呼ばれると元気いっぴいの声で「はいっ!」と返事していました。また、中学校では新しい制服に身を包み3年間の中学校生活をスタートさせました。

商工会女性部は毎年、新1年生の交通安全を願う気持ちを込めて、手作りの交通安全お守りの贈呈を行っています。今年は、お守りと3月葉子をプレゼントし、同青年部はオリジナル交通安全のナビーちゃんシールを手渡しました。



恩納村立中学校統合推進室を設置

村教育委員会は新年度から、委員会内に中学校統合に向けた「中学校統合推進室」を設置しました。学校教育課より事務を引き継ぎ、校名や教育課程などの協議を進めていきます。

喜久山隆室長は「特色ある学校づくりを目指し、地域やPTAなどの理解を得ながら平成32年4月開校に向けて事務作業を進めていきたい」と述べ、當山欽也教育長は「中学校統合は半世紀近くの課題で、村にとって大きな一歩だと位置づけている。地域と一緒に特色ある開かれた学校づくりを行っていきたい」と開校に向けて力強く話しました。

現在の進捗状況は用地購入が完了し、本年度より造成工事、建築工事等を予定しています。



當山教育長（右から2人目）、喜久山隆室長（中央）と担当する職員ら

金武地区消防衛生組合人事

●異動

消防本部警防課長

新里 道夫

(前消防本部警防課長補佐)

恩納分遣所長

仲間 務

(前恩納分遣所警防係長)

宜野座分遣所長

伊藝 三明

(前恩納分遣所警防係長)

●新採用職員紹介

4月1日付けで4名が採用となりました。新採用職員は4月から12月まで沖縄県消防学校で消防、救急業務などの研修を経て現場実働します。



左から大城 貴也（恩納）、山田 大起（安富祖）
富田 敦己（谷茶）、新里 勝太（宜野座村）

定住促進係 新設のお知らせ

恩納村では若年層の転出による人口減少が予想され、それに伴う地域の伝統行事や伝統芸能の継承が困難になる可能性があります。さらに、地域活動の縮小による住民同士の交流機会の減少や地域への愛着心が薄れていくことが懸念されます。

そこで、今年度より企画課内に「定住促進係」を新設し、これまで大学院大学推進係で行ってきた業務を引き継ぎながら、若者を中心とした定住化に向けた取り組みを調査・検証します。

恩納村職員人事異動

●退職者

大城 学（建設課長）

大城 保篤（社会教育課長）

金城 尚子（村民課長）

上地 利明（農業委員会係長）

●課長

村民課長 屋良 朝也（農林水産係長）

税務課長 親泊 誠（文化係長）

社会教育課長 長浜 健一（税務課長）

中学校統合推進室長 喜久山 隆（学校教育係長）

建設課長 崎浜 敦（ダム建設係長）

●係長（昇任）

町田 真理子（村史編さん係）

瑞慶覧 朝一（ダム建設係）

當山 彰一（農林水産係）

渡口 奈津子（農業委員会）

仲本 みどり（戸籍係）

名城 政太（学校教育係）

崎原 恒寿（文化係）

呉屋 美奈子（文化情報センター係）

よろしくお願ひします

4月から新しく採用された
7名の職員を紹介します。

伊波 雄一
(総務課)



これから色々なことを学び、経験し、村民の皆さまのために努力していきますので、どうぞよろしくお願ひします。

饒波 武周
(中学校統合推進室)



地域との太いパイプ役となれるよう、地域活動を通して皆さまと交流を大切にしたいと考えています。

富着 敬之
(農林水産課)



公務に誇りと責任を持ち、地域住民のため、村の発展のために努めてまいります。

當山 幹太
(企画課)



初心を忘れず、笑顔で元気に楽しく地域の方々のために、仕事に取り組んでいきたいと思ひます。

嘉納 真由美
(農林水産課)



笑顔と努力、謙虚さや誠実さを忘れず、より良い村づくりができる職員を目指し、業務に励みたいと思ひます。

仲村 誉士
(税務課)



生まれ育った恩納村で暮らしを支える仕事ができることを嬉しく感じています。皆さんの力になれるよう頑張っていきます。

玉城 一樹
(上下水道課)



若さとチャレンジ精神を持って日々精進し、一日も早く一人前の職員として働けるよう頑張ります。

あなたの地域の民生委員・児童委員です



谷茶区 石川和子
南恩納区 佐渡山竹子
恩納区 山城郁夫
恩納区 池原たか子
太田区 渡慶次文子
瀬良垣区 小山民子
安富祖区 當山美津
喜瀬武原区 外間礼子
名嘉真区 長堂タツ子
主任児童委員 佐渡山和美
主任児童委員 大出民江
宇加地区 古波藏秀雄
塩屋区 宮平貴美
真栄田区 安富祖愛子
山田区 上原真知子
仲泊区 大城節子
前兼久区 布施和江
富着区 加藤朋美

5月12日 民生委員・児童委員の日

「民生委員児童委員強化週間」 5月12日～18日

お問い合わせ：恩納村民生委員児童委員協議会 ☎966-1193

平成29年度特定防衛施設周辺整備調整交付金事業

- 熱田川改修工事（安富祖区）
事業費：46,234,800円
（うち交付金額 36,063,000円）
工事延長：62.4m
（ボックスカルバート=43.6m、
石積護岸=18.8m）
- 名嘉真川橋梁整備工事実施設計
事業費：25,326,000円
（うち交付金額 20,049,000円）
- 公民館建設基金事業
事業費：62,234,000円
（うち交付金額 62,234,000円）



熱田川

社会福祉及び人財育成へ寄附!!



恩納村の社会福祉と人財育成活動資金の造成を目的として、第4回チャリティー歌謡ショー（大城栄子とうたの仲間「絆」）が、3月4日に村ふれあい体験学習センター（ゆうなホール）で開演されました。

4月4日、大城栄子代表者と事務局の知念綾子さんが役場を訪れ、チャリティーショーの収益金を村教育委員会に20万円、村社会福祉協議会へ40万円の寄附がありました。

長浜村長と當山教育長は「村の社会福祉及び人財育成に有効に活用させていただきます」との感謝のお礼がありました。

県内初「観葉鉢物」拠点産地認定



3月28日、県庁で拠点産地認定交付式が行われ、恩納村が観葉鉢物の拠点産地として県内で初めて認定されました。

認定式で長浜村長は「積極的に県内外にPRしていきたい」と抱負を述べ、観葉生産部の崎浜秀俊会長は「魅力を伝え、若い農家を増やしていきたい」とあいさつしました。

拠点産地とは沖縄県が定める戦略品目の中で、定時・定量・定品質の出荷ができる産地を拠点産地として認定し、市場に信頼されるおきなわブランドの確立の推進を図るものです。

恩納村文化情報センターだより Vol.79

5月のおすすめ本



『カメラはじめます!』
こいしゆうか/著 【742.5/1】

5月はゴールデンウィーク連休中のイベントが目白押し! 思い出の撮影準備はできていますか? デジカメやスマホを使った撮影術の本をおすすめします。

あわせて読みたい本

- 『スマホで超カンタン特撮ポートレートからミニチュアまで「映像監督気分」の撮影テク』 Tac宮本/著 【743/9】
- 『家族を撮る。子どもとの10年を残す、デジカメLesson』 藤本陽子/著 【743.4/7】
- 『写真家きょん』のふわっとかわいい「ゆるかわ写真」の撮り方ノート』 川野恭子/著 【743/カ】

クイズラリー

～おんなサザンゲート冒険ゲーム～

おんなの駅と文化情報センターのコラボイベントを開催します。

謎を解いてプレゼントをゲット! 5日、6日にはおんなの駅にピエロも登場! クイズラリーのスタートはおんなの駅からとなっています。

日時: 5月4日(金)、5日(土)
11:00～14:00

場所: おんなの駅・博物館・情報センター
※1日先着100名です。

出張おはなし会

おんなの駅内フードコートにて、出張おはなし会を開催いたします。いつもとは違ったおはなし会をお楽しみください。

日時: 5月5日(土) 15:00～
会場: おんなの駅フードコート

『G.Wスペシャルイベント』

みどりの日 カルタ大会

～おきなわ生きものカルタ～

5月4日「みどりの日」は、自然に親しむ日です。沖縄の自然を楽しく学べる「生きものカルタ」を使って、カルタ大会を開催いたします。皆様のご参加お待ちしております。

日時: 5月4日(金) みどりの日
時間: 14:00～15:00

会場: 博物館1階研修室

定員: 20名(予約者優先)

年齢クラス: 幼児、低学年、高学年、大人(中学生以上)の4クラスです。

参加費: 無料(要受付)

受付: 文化情報センターカウンター又は電話にて受付

恩納村文化情報センター 5月休館日

休館日 1日、2日、7～9日、14日、21日、28日

資料整理日 17日

【お問い合わせ】

恩納村文化情報センター

●センターに関する情報は、ホームページで確認できます●

〒904-0415 恩納村字仲泊 1656 番地 8

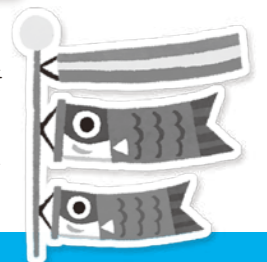
TEL: 098-982-5432 [HP] <http://www.onna-culture.jp>

児童福祉週間 (5月5日～5月11日)

毎年5月5日の「こどもの日」から1週間は児童福祉週間です。

子どもや家庭を取り巻く環境、子どもの健やかな成長について国民全体で考えることを目的としています。

村では、4月に一足早く村内保育施設の園児たちと健やかな成長を祈り、このほろりを掲揚しました。



お問い合わせ：福祉健康課 ☎966-1207

子宮頸がん・乳がん検診を受けましょう！

5月から検診が始まります！今年も**無料**で受診することができます！！
 ・ ・ ・ 対象者へは、5月に受診券(ピンク色)が郵送されます ・ ・ ・

対象者

村内に住所があり、検診を受ける機会のない女性の方
 ●子宮頸がん検診：20歳以上 ●乳がん検診：30歳以上

【今月の検診の日程と会場】

日 程：5月28日(月)
会 場：名嘉真区多目的施設(公民館)
受付時間：午後1時30分～2時30分
検診種類：子宮頸がん検診
 乳がん検診(マンモグラフィ検査)

※乳がん検診は**予約が必要**となります。福祉健康課窓口またはお電話にてお申し込みください。

※受診方法や日程等の詳しい内容は、恩納村健康診査等のご案内や受診券又は同封されたチラシをご確認ください。

【お願い】

20～79歳で受診券が届いていない皆様へ
 4月以降に恩納村へ引っ越してきた方や受診券通知を中断されている方は、受診券が郵送されていない場合があります。受診券発行を希望する方は、下記の担当課までご連絡ください。

80歳以上の皆様へ
 受診券は送付されません。子宮頸がん・乳がん検診受診希望の方は下記の担当課までご連絡ください。

子宮頸がんは**20～30歳代**で急増！乳がんは**40～50歳代**で多くなっています！！
 自分のため・家族のために「いつか・・・」じゃなく、「今」検診に行きましょう！

お問い合わせ：福祉健康課 健康づくり係 ☎966-1207

平成30年度 高齢者肺炎球菌予防接種がはじまりました！！

●肺炎球菌感染症とは・・・？

肺炎球菌という細菌によって引き起こされる病気で、咳やくしゃみなどでうつり、免疫が低下している高齢者などでは肺炎、気管支炎、敗血症などの重い症状になることがあります。日頃のうがいや手洗いなどの予防とあわせて、予防接種を受けることで感染または重症化を防ぎましょう。

対象者

村内に住居登録のある方でご本人の意思確認ができる以下の方
 ※過去に23価型肺炎球菌ワクチンを接種した方は**対象外**となります。

対象期間	対象者	生 年 月 日
平成30年4月1日～ 平成31年3月31日	60歳以上 65歳未満	心臓、腎臓もしくは呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害がある者(身体障害者手帳1級程度)
料 金 自己負担 1,000円 ※生活保護世帯は自己負担なし	65歳	昭和28年4月2日生～昭和29年4月1日生
	70歳	昭和23年4月2日生～昭和24年4月1日生
	75歳	昭和18年4月2日生～昭和19年4月1日生
	80歳	昭和13年4月2日生～昭和14年4月1日生
	85歳	昭和8年4月2日生～昭和9年4月1日生
	90歳	昭和3年4月2日生～昭和4年4月1日生
	95歳	大正12年4月2日生～大正13年4月1日生
100歳	大正7年4月2日生～大正8年4月1日生	

- 事前に予診票の記入と、医療機関へ電話予約が必要です。
- 対象者には4月中旬頃、予診票(みどりの封筒)を送付しております。

費用助成は**1回限り**です。



お問い合わせ：福祉健康課 母子保健係 ☎966-1207

麻しん流行に伴う恩納村行政措置予防接種のお知らせ

- ・麻しんは非常に感染力が強く、免疫力のない人(麻しんに罹ったことがなく、予防接種を受けていない人)は同じ空間にいると感染する可能性が高く、**唯一の予防方法は予防接種**です。
- ・下記対象者は**無料**で予防接種を受けることができます。(MRワクチンまたは麻しんワクチンを1回)すでに自己負担で接種された方は、5月1日以降より払い戻しいたします。

【行政措置予防接種対象者】 ※恩納村に住所を有する①～③の者

- ①生後6ヶ月～1歳の誕生日の前日までの方
- ②平成25年4月2日生～2歳児で第1期末接種の方
- ③昭和52年1月1日生～平成24年4月1日生(小学校1年生)でこれまでに2回接種したことがない方(※罹患したことのある者を除く)

【接種期間】平成30年3月23日～平成30年6月30日 【接種場所】沖縄県内の医療機関

※詳しくは村ホームページをご確認いただくか、下記担当までお問い合わせください。

※定期予防接種対象者(1歳児・小学校入学1年前の児童)は早めに接種しましょう！！

5月13日(日)～5月19日(土)は「はしか・風しん“0”キャンペーン週間」です！

お問い合わせ：福祉健康課 母子保健係 ☎966-1207

健康診査・がん検診のお知らせ

マイペース健診・30代チャレンジ健診、5月1日(火)より申込受付開始!!!

がん検診は通常、集団健診会場でしか受診できませんが、30代チャレンジ健診、マイペース健診なら基本健診・特定健診とセットでがん検診を病院で受診できます！申込が必要です。受診希望の方は福祉健康課までご連絡ください。
 詳しくは下記の案内をご覧ください。



	30代チャレンジ健診	マイペース健診
対象者	健診受診機会のない今年度30～39歳になる方 加入健康保険の種類は問いません。	恩納村国民健康保険加入の40～74歳の方
定員	25名(要申込)	360名(要申込)
内容	①基本健診 ②胃がん検診 ③肺がん・結核検診 ④大腸がん検診 ①～④全てを受診することが必要	①特定健診 ②心電図検査 ③胃がん検診 ④肺がん・結核検診 ⑤大腸がん検診 ①～⑤全てを受診することが必要
料金	無料(胃カメラに変更しても追加負担はありません)	
健診期間	H30年5月～H31年2月28日(病院へのご予約はお早めに！)	
受診できる医療機関	①恩納クリニック ②翔南病院 ③中部徳洲会病院 ④KIN放射線治療・健診クリニック	①恩納クリニック ②翔南病院 ③中部徳洲会病 ④中部協同病院 ⑤KIN放射線治療・健診クリニック ⑥中部地区医師会検診センター
受診方法	福祉健康課窓口又はお電話にて申し込み ⇒ 後日承認証が届いたら上記の医療機関のいずれかに受診日の予約の電話をかけてください。	

※平成30年度の集団健診は6月から始まります。

訂正お詫びと
 平成30年度版 恩納村健康カレンダーに誤りがありましたので、訂正させていただきます。
 [平成29年度健康標語入賞作品 [基本健診・胃・肺・大腸がん検診の受付時間]
 (誤)大城 勇輝 ⇒ (正)大城 勇耀 (誤)8:30～11:30 ⇒ (正)11:00
 ●●● 訂正してお詫び申し上げます。 ●●●

お問い合わせ：福祉健康課 健康づくり係 ☎966-1207

～ 国民年金についてのお知らせ ～

日本国内にお住まいの20歳以上60歳未満の方は、国民年金への加入が法律で義務付けられています。国民年金被保険者には、職業などによって次の3つの種別があります。

種別	加入する制度	対象者	届出先	納付方法
第1号被保険者	国民年金	・学生・自営業者 ・農林、漁業者等	役場村民課	各自が納付
第2号被保険者	国民年金 厚生年金保険	・会社員 ・公務員等	勤務先	お勤め先を通じて納付 (給料から天引き)
第3号被保険者	国民年金	第2号被保険者に扶養されている配偶者	配偶者の勤務先	自己負担なし (第2号被保険者の加入制度が負担)

●こんなときは届け出を！

種別	こんなとき	変更後	届出先
20歳になった方	学生、自営業、無職等	第1号被保険者	・村民課年金係 ・年金事務所
	厚生年金保険に加入している配偶者に扶養されている	第3号被保険者	配偶者の勤務先
第1号被保険者の方	就職して厚生年金保険に加入した	第2号被保険者	勤務先
	結婚や収入減少等で厚生年金保険に加入している配偶者に扶養されるようになった	第3号被保険者	配偶者の勤務先
第2号被保険者の方	勤務先を退職した	第1号被保険者	・村民課年金係 ・年金事務所
	退職して厚生年金保険に加入している配偶者に扶養されるようになった	第3号被保険者	配偶者の勤務先
第3号被保険者の方	収入増加や離婚等で配偶者に扶養されなくなった	第1号被保険者	・村民課年金係 ・年金事務所
	配偶者が厚生年金保険に加入していた勤務先を退職した		
	配偶者が65歳になり第2号被保険者ではなくなった	第2号被保険者	勤務先
	就職して厚生年金保険に加入した	第3号被保険者	配偶者の新しい勤務先

結婚や就職、退職などで被保険者の種別が変わった時は、2週間以内に手続きをすることが必要です。

お問い合わせ： 村民課 年金係 ☎966-1205
名護年金事務所 ☎0980-52-2522

村の人口

総人口 10,947 (-13)
男 5,573 (-30)
女 5,374 (+17)
世帯数 5,106 (-15)

2018年3月末現在

ご芳志
ありがとうございました。

恩納村奨学基金への寄付者
香典返し

■宜野座 輝美 様 (字名嘉真)
故 宜野座 剛 様
10万円

合同相談のお知らせ

5月22日(火)

午前10時～12時 午後1時～3時
恩納村コミュニティセンター
※5月15日(火)から総務課窓口または電話にて受付いたします。
※初めて相談する方を優先とします。

お問い合わせ：総務課 ☎966-1200

フィットネス教室

自宅でする簡単なフィットネスからちょっとハードなフィットネスまで、いろいろなフィットネスを体験してみませんか？

特殊な道具は必要ありません！自分の体と身近な物でするフィットネスを紹介します。

お気軽にご参加ください！

日時 北地区 ①6/4 ②6/11 ③6/18
(毎週月曜日) ④6/25 ⑤7/2

19:30～21:00

南地区 ①6/7 ②6/14 ③6/21
(毎週木曜日) ④6/28 ⑤7/5

19:30～21:00

場所 北地区 (太田公民館)

南地区 (真栄田公民館)

講師 健康運動指導士 大城 裕弥氏

参加費 無料

対象 村内在住者

定員 30名(先着順)

持ち物 屋内シューズ、フェイスタオル、飲み物

受付期間 4/24(火)～5/30(水)9:00～17:00

受付方法 教育委員会窓口またはお電話にて

受付・お問い合わせ：社会教育課
☎966-1210

固定資産税第1期の納期限は 5月31日(木)です！

●固定資産税はコンビニ及びゆうちょ銀行で納付できます。

●ゆうちょ銀行以外の恩納村指定金融機関の口座振替依頼書が納付書についています。記入後、税務課又は村指定金融機関にお持ちください。

◆納税義務所(所有者)が変更になった時には、再度口座振替のお手続きが必要になります。

～今後とも期限内納付のご協力をお願いします～

お問い合わせ：税務課 ☎966-1206

東京(関東)の うんなんちゅ集まらナイト!

池袋サンシャインシティ沖縄めんそ〜れフェスタにおきまして、東京(関東方面)に在住する村出身者を集めて交流会を開催いたします。つきましては、村出身者の知り合いがいましたら、交流会の参加呼びかけをお願いします。

日時：5月26日(土) 18:00～

会場：サンシャインシティ(東京都)

お問い合わせ：商工観光課 ☎966-1280

狂犬病予防注射のお知らせ

日程：5月27日(日)

地区名	時間	場所
喜瀬武原	午前 9:00～9:25	公民館
希望ヶ丘	9:50～10:15	自治会館
名嘉真	10:25～11:00	公民館
熱田	11:15～11:35	集会所
安富祖	11:45～12:25	公民館
瀬良垣	午後 1:25～1:55	公民館
太田	2:10～2:40	公民館
恩納	2:55～3:55	公民館
南恩納	3:25～4:15	公民館
谷茶	午後 2:45～3:10	公民館
富着	2:05～2:35	公民館
前兼久	1:30～1:55	公民館
仲泊	12:40～1:20	公民館
山田	午前 10:50～11:40	公民館
真栄田	10:10～10:40	公民館
塩屋	9:35～10:00	公民館
宇加地	9:00～9:25	公民館

※予防注射手数料 2,650円

注射済票交付手数料 550円 計 3,200円

※まだ登録をしていない犬は、この機会に登録を済ませてください。

登録手数料 3,000円(病院でも登録可能です)

※集合注射を受けることができない場合は、お近くの動物病院で予防注射を受けてください。

お問い合わせ：村民課 ☎966-1205

海外派遣研修生募集

【応募資格】

- (1) 平成30年4月1日現在、1年以上恩納村に本籍又は住所を有する者。ただし、本籍については学校進学のため一時的に住所を異動している者に限る。
- (2) 22歳以上35歳までの者(平成30年4月1日現在)
- (3) 研修前後において、恩納村の主催する国際交流事業へ積極的に参加できる者

【募集人員】 2名以内

【研修期間】 平成31年1月～2月の間の内、1ヵ月程度(予定)

【研修先】 ボリビアとブラジルを予定しています。

【応募期間】 6月1日(金)～7月31日(火) 午後4時まで

※詳しくは企画課までお問い合わせください。

お問い合わせ：企画課
☎966-1201

レタス収穫体験（シンカプロジェクト事業）

瀬良垣のレタス栽培実証圃場において、恩納中学校1年生と米軍施設内の子供達による「レタス定植・収穫体験」を行いました。

定植では、農家の遠藤喜幸さん（川上村）指導のもと行われ、収穫体験では、地元産の新鮮シャキシャキレタスを直接畑で体験し、農業の楽しさを感じていただきました。



シンカプロジェクトとは

友好姉妹村である長野県川上村より、レタス・その他野菜の栽培技術指導を受け、恩納村で産地化を目指す。シンカプロジェクトの“シンカ”とは沖縄の方言で【仲間】を意味する“シンカヌチャー”から由来しています。

「サンゴの村宣言」プロジェクト ～世界一サンゴにやさしい村～⑦

サンゴの絵本を作ろう

サンゴの村宣言プロジェクトの一環として村文化情報センターでは、サンゴに関する絵本作成講座を行い、大賞作品が決定しました。

講座は3ヶ月間で全6回行い、大人から子どもまで個性豊かな15の作品が完成しました。



名前：Sunnaちゃん



参加者の皆さん

【大賞作品】



『サンゴのしま』
吉山佳子

厳正な審査のもと、村内在住の吉山佳子さんの『サンゴのしま』が大賞作品となりました。作品は絵本として出版され、7月のうんなまつりにてお披露目する予定です。その他の作品も今後おはなし会やイベント等で広く活用いたします。

恩納100 むらのきおく その九十一



機織りの杼(ひ)

昔の着物の材料には、芭蕉や木綿、蚕のまゆ（絹）などがあり、布を織る際には織機おりばたを使用していました。杼ひは地機じばたや高機たかばたで布を織るときに、経糸たていとの中に緯糸よこいとを通す作業に使います。芭蕉は乾燥に弱くすぐに糸が切れてしまうので、絶えず湿気を与えながら織りました。そのため、5、6月の梅雨の季節は織りやすく、逆に織りにくいのは北風の吹く冬や、1日の中でも太陽が照りつける時間でした。